

(別紙1)

### 自己評価及び外部評価 結果

作成日 平成22年2月28日

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2774900530		
法人名	有限会社 イツキケアサービス		
事業所名	ぐるーぷはうす なごみ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府 富田林市 東板持町 3-15-5		
自己評価作成日	平成22年2月28日	評価結果市町村受理日	

#### 【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp">http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 評価機関あんしん
所在地	大阪府岸和田市三田町1797
訪問調査日	平成22年3月30日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・施設では無く、【家】と考え生活リハビリを中心に、出来ることを把握する事により利用者様のADL・QOL向上に努めています。

・また、利用者様へ『お手伝い』の言葉を無くしています。スタッフには【利用者様の出来ない事を手伝う。】の考えを徹底し利用者様の自尊心維持にも努めています。

・地域資源の活用を重視し地域催し、回覧板回し等にも積極的に参加して頂いています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「ぐるーぷはうすなごみ」は近鉄富田林駅からバスに乗車、東板持バス停留所で下車し徒歩約6分の閑静な住宅地の一角にある。純和風の2階建て民家をグループホームとして使用している。「その人らしさを大切に、自発的・主体性もち支えあう」を理念に、利用者が地域の中で安心して暮らせるよう支援している。町会に加入し、利用者が地域の清掃活動や近隣に回覧板を回す、夏祭りに参加するなど、地域の中でその人らしく生活することを支えるケアをしている。昨年秋、菩提寺へのお墓参りに職員2人が同行するなど、本人がこれまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援を行っている。毎週水曜日集会所で実施される「ふれあい喫茶」に参加し、カラオケや会話を楽しみながら地域との交流を図っている。また、毎月広報「なごみだより」を発行し、利用者の暮らしぶりや行事の様子を写真で紹介し、家族等からの意見や要望等が出やすいようコーナーを設け、紙面に掲載している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を玄関に掲げ、利用者様1人1人の目的に沿い安心して暮らしていける環境作りをしています。	独自に作り上げた解りやすい理念を玄関の入り口に掲示している。毎月1回開催している会議でも職員への周知を図り、その実践に向けて日々取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎週実施されている、ふれあい喫茶への参加や回覧板を利用者様と回し交流を図っています。	町会に加入し、地域の清掃活動や夏祭りなどへ積極的に参加している。毎週水曜日集会所で実施される「ふれあい喫茶」に参加し、地域の方々と顔馴染みの関係となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事の公園清掃にも利用者様と参加し地域の方にも支援方法等を理解して貰う様に努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今後はおおむね2ヶ月に1回の開催をして行く努力をしていきたいです。	利用者、家族、地域代表、福祉関係者、有識者、管理者、職員等のメンバーで4ヶ月に1回運営推進会議を開催し、会議録を残している。会議では参加者の提言も出され、今後サービスの質の向上に活かしていくことが期待される。また、会議の内容は職員にも報告している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者様の諸申請や提出書類。また、分からない事があれば聞きに行く等しています。	高齢介護課へ事業所のチラシ等の設置を依頼するなど、積極的な情報提供と共有が行われ連携を取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関や内扉は日中は施錠せず自由にして貰っている。また、なごみにおいて身体拘束は全てにおいて行っていない。	身体拘束をしないケアについて、毎年職員に研修を実施している。目を離さない、見守る位置のグルーピングを実施している。玄関や室内は日中施錠しておらず、利用者は自由に過ごされている。	

7	<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設外研修で学び、虐待のない介護を学んでいる。また、なごみにおいて虐待は全てにおいて行っていません。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設外研修で権利擁護に関する制度を学び、実践に活用できる様にしています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用の際、専門用語は使わずゆっくりと話をし、理解・納得を得れる様にしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>広報なごみだよりで問い掛けたり御家族様が来宅された際にも聞き取りをしています。</p>	<p>毎月広報「なごみだより」を発行し、家族等からの意見や要望が出やすいようコーナーを設け、紙面に掲載している。家族の訪問時には積極的に意見を聴取し、毎月の会議でそれらを運営に反映している。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>常に直接話を聴いたりアンケートを取り、また月1回の会議では全スタッフの意見を聞き反映させています。</p>	<p>代表者は年1回、管理者とは毎月、全職員と話し合い、意見や提案を聞く機会を設けている。個別の相談は昨年2回行っている。勤務体制も話し合いの中で、公休を2日から3日に増やすなどの改善が見られる。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は年に1回全スタッフとの個別面談を行い聞き取りをしバーンアウトやストレス軽減も行っています。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年、各自最低1回は施設外研修に参加し、また毎月1回は施設内研修を行いスキルアップを図っています</p>	

14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市の施設会に加入や介護相談員の受け入れをし、また管理者は月に1度をめどに同業者と食事会をしています。</p>		
<p><b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し要望も聞き取りながら信頼関係の構築に努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し要望も聞き取りながら信頼関係の構築に努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>インタビューやアセスメントを充分に行いニーズを理解する様に努めています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活リハビリを中心に行い、能力に応じた作業を職員と共にやり共同生活を実感して貰っています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>生活状況を報告する等、連絡も密にし来宅時には利用者様と一諸に食事して貰い誠心誠意を持って対応しています。</p>		

20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの散髪屋や、菩提寺へスタッフ動行でお参りに行っています。	馴染みの理髪店やお墓参りに行くなど、本人がこれまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援を行っている。昨年の秋には菩提寺のお墓参りに職員2人が同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少人数なので利用者様同士の関わりが多く、利用者様が出来ない事をスタッフが手伝わせて頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、自宅へ赴き線香をあげさせて貰いに行った際、十分に話しを聞き相談させて貰ってます。別の退所者家族様からは毎年お中元・お歳暮も頂いています。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを通じて信頼関係の構築を図り、思い・希望等の聞き取りに努めています。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望は、介護記録やアセスメントでチェックし、職員の申し送り等で情報の共有を図っている。月2回、飲酒の希望も受け入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	御本人様、御家族様、関係者との信頼関係を築き情報収集の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	【御様子】【出来る】【出来ない事】【特変】等、関心を持ち利用者様毎のケア記録へ詳細に記入しスタッフ間の情報の共有を図っています。		

26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	来宅された時や電話連絡の際、家族様・スタッフと話し合い、その人に合ったケアプラン作成をしています。	介護計画の作成に当たっては、家族等から希望や意向を聞き取り、必要な支援を盛り込んだ個別具体的な計画を作成している。家族等から要望のあった時や状態に変化がみられた時には、計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各利用者様毎に細かく記録し情報の共有を心掛けケアプランの見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	年間行事以外でも外出する等利用者様の生活にメリハリをつけています。また菩提寺へのお参りや馴染みの理容店にも行ける様にしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	週1回の地域の人達との交流の場ふれあい喫茶や町内会行事の参加。また回覧板を回して頂くなど地域資源を活用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週水曜日、歯科医・ドクター。毎週金曜日、訪問看護師の往診。必要な時は他医療機関への紹介状も出して貰っている。	利用者の病歴、ADL、コミュニケーションの取り方、食事形態等は職員が往診記録でチェックし、適切な医療が受けられるように支援している。利用者や家族が希望すれば、他の医療機関や、かかりつけ医での受診をできるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎週金曜日の訪問看護師に利用者様毎に記録して貰い、入浴時にはバイタル報告し確認して頂いています。		

32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	家族様・ドクターとの話し合いに同席し情報の共有交換をし、時間を作りこまめに病院へ出向いています。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所作成の看取り指針に基づき重度化前に話し合いの場を設けています。また、スタッフとはマニュアルを作成しチームケアに取り組んでいます。	重度化した場合や終末期の対応方針等はマニュアルを作成し、看取り指針を利用者・家族に説明を行い、方針の統一を図っている。家族・医師・看護師等と事業者間の話し合いの状況をケア記録に記載している。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訪問看護師主催の勉強会を実施。また緊急連絡先も目の付く場所に掲示している。今後は定期的に勉強会を催して行きたい。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難通路の確保・避難誘導介助・連絡・初期消火など年2回の昼夜訓練を行っている。	火災や地震等、災害を想定した実践的な防災訓練を年2回定期的に行っている。今年度には消防署の立入り検査が行われた。災害に備え食糧の備蓄も行っている。	運営推進会議などで地域の人の参加を呼びかけ、地域の協力が得られるよう推進会議を活かした取り組みを期待したい。

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様への『お手伝い』の言葉を禁止し利用者様が出来ない事をスタッフがお手伝いさせて頂く。の考えを実践し、言葉の選択も注意しています。	排泄介助の対応等、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応をしていないか、日常的な確認と、改善に向けた取り組みを行っている。プライバシー保護に関する取り組みは、毎月の会議の中で、職員が伝達研修で行っている。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	信頼関係を構築し、話しやすい環境を作り食事や入浴時には声掛けを重視し自己決定して頂ける雰囲気を作っています。		

38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今後は今以上にゆったりとしたペースで利用者様と関わり、その人らしさを大切に今まで以上に大事にして行きたいです。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	翌日着る服を選んで貰ったり、髭剃りや身だしなみを重視し、お正月には和装して頂く等、支援させて頂いています。		
40	15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリを中心に盛り付け・調理・片付け等出来る事をスタッフと一諸にしています。	職員は食事の介助をするだけでなく、利用者と一緒に同じものを食べている。嚥下困難な利用者は誤嚥性肺炎を起こさないよう調理された献立をゆっくりと時間をかけて食べておられる。気候のよい季節には、お弁当を持って公園や家のガレージで食事したりするなど食事形態にも変化をつけている。	
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	偏った食事やメニューにならぬ様にし、嚥下困難な利用者様にはトロミやミキサー食で対応しています。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや週2回に薬剤で清潔保持をし、毎週水曜日には歯科医にて口腔ケアもしています。		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	決まった時間だけでなく、その人が出そうな時間を見計らい誘導しています。	可能な限りトイレでの自立に向けた支援をするため、こまめに排泄支援を行っている。排泄パターンはケア記録、介護日誌、週間記録表等の排泄チェック表で把握し、個別の排泄支援を行っている。	



44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘傾向にある利用者様には、水分補給を勧め、軽運動も行える様、支援しています。</p>			
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的には入浴曜日を決めているが、入浴順番は決めていない。その日の体調に応じて入浴して頂き、ゆっくりと入られる方・カラスの行水の方と楽しんで頂いています。</p>	<p>入浴は火、木、土と曜日と決めているが、体調に応じて看護師と相談して決めている。入浴時間は人員体制によって、午後8時まで入浴を楽しめるよう個別の入浴支援を行っている。</p>	<p>プライバシー確保のため、脱衣所にカーテンと安全確保のため手すりを付けるなどの工夫が望まれる。</p>
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その時間に応じてや、活気・表情等確認し状態や状況を見極め休んで頂く様にしてしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬表を利用者毎に整理し、スタッフ全員がいつでも確認出来る様にして理解を深める為今後は薬剤師を招き勉強会を催したいです。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>単調な日々にならぬ様に生活リハビリを中心に行い、また喫煙や飲酒を好まれる方には気分転換も兼ねて、して貰い生活のメリハリを付けて頂いてます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の良い日は、散歩や外気浴をして頂き、菩提寺へのお参りや馴染みの理容店にも行ける様にしてしています。</p>	<p>天候の良い日は、近くの喫茶店へケーキを食べに外出したり、近隣の「ふれあい喫茶」に出かけたりしている。家族と一緒に食事に行く、自宅に帰るなど、家族や地域の人々と協力しながら外出支援を行っている。</p>	

50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物や、理容店に行った際 お金を渡して頂き、お釣りも直接貰える様になっています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状を書いて頂いています。電話は自ら掛けることが困難な為、スタッフから家族様への報告の際、御本人様と電話して頂いています。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関に季節の花やリビングには、雛人形を置き季節感を取り入れ、また清掃や消毒も踏まえ清潔保持にも努めています。</p>	<p>玄関を入ると中央に廊下があり、壁面に桜の花のちぎり絵を掲示している。左手に居間があり、大きな窓から陽射しが入り、明るく居心地のよいつくりになっている。居間には、座り心地の良さそうなソファを置き、絵画、薄型テレビ、金魚の水槽など生活観のある家具が置いてある。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>決まった場所では無く、いつでもどこでも自由に来て頂ける様な雰囲気作りに努めています。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は常に清潔と整理整頓を心掛け、本人が使用していた文机やダンス、着物を置いています。</p>	<p>居室は8畳の和室にベッドが置いてあり、テレビ、ダンス、文机、鏡台など利用者が使い馴れた馴染みの物が持ち込まれている。居室は清掃が行き届き、明るく居心地よく過ごせる居室になっている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>場所の表示をし、出来る限り分かる様にしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない